

【太陽光発電を活用したオンサイト・オフサイトPPAサービス開始のお知らせ】

濃飛倉庫運輸株式会社では、2026年4月1日より、大垣総合物流センターの屋根上に太陽光発電設備を設置し、発電を開始しました。本設備で発電された電力は、物流センター内で自家消費する「オンサイトPPA」として活用するとともに、自家消費分を除いた余剰電力については、濃飛ビルおよび濃飛ニッセイビルへ供給する「オフサイトPPA」として活用しています。

これにより、再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電力を最大限に有効利用し、脱炭素社会の実現に向けた環境負荷低減に貢献する取り組みとなっています。

● PPAとは？

PPA（Power Purchase Agreement）とは、太陽光発電設備を設置する事業者と、電力を使用する需要家との間で締結される「電力購入契約」のことです。需要家は初期投資を行うことなく、再生可能エネルギーを利用することができます。

● オンサイト・オフサイトPPAサービス導入の目的

CO₂フリーのクリーンエネルギーを有効活用することにより、脱炭素社会の実現に貢献することを目的としています。

● オンサイト・オフサイトPPAサービスの概要

- 大垣総合物流センターの屋根上に設置した太陽光発電設備で発電した電力を、自家消費することで脱炭素効果創出。（オンサイトPPA）
- 自家消費しきれない余剰電力を、電力託送制度を活用して濃飛ビルおよび濃飛ニッセイビルへ供給し、CO₂フリー電力として活用。（オフサイトPPA）

太陽光全発電量：	701,210	kwh	余剰量：	501,379	kwh
自家消費量：	199,831	kwh	余剰分の同時使用可能量：	490,306	kwh
			脱炭素効果：	288	t-CO2/年



本取り組みを通じ、濃飛倉庫運輸株式会社は、今後も環境負荷低減と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。